

会報 まつもと 49号



平成 30 年 4 月 16 日 発行

(公財)長野県長寿社会開発センター 松本地区賛助会

松本市島立 1020 松本保健福祉事務所福祉課内

発行責任者 小野 松雄 発行部数 1,000 部

シニア大学松本学部 40 期生 188 名が卒業

明るい陽射しの中、春の訪れを感じさせる日に平成 30 年 3 月 2 日（金）松本合同庁舎講堂において、40 期生 A 組 106 名、B 組 82 名、計 188 名が 2 年間の講座が終了し卒業式を迎えることが出来ました。卒業後の皆さんには、地域や各分野での活躍が期待されます。

鳥海 宏 学部長の式辞



平成 28 年 5 月に入学され、2 年間の所定の過程を無事卒業された皆様の旺盛な学習意欲と相互に励ましあい温かい学友関係を築きあげてきた努力に改めて敬意を表する次第です。

皆様の学生生活を振り返りますと、各講座をはじめ、スポーツ活動、松本大学でのパソコン実習、A 組は京都、B 組は奈良・京都への研修旅行など積極的に学ばれました。

この 2 年間に学ばれた成果が卒業後も皆様の励みとなり心の糧となってこれからの人生の大きな支えになると確信したところです。

心身の若さを保つ秘訣は社会交流と知的な活動を続けることと言われております。人生 100 年時代を迎えた今、長野県では高齢者の皆様が長年培った『知識』『技術』『経験』を生かして、齢を重ねても就業や社会参加活動を行うことができる「人生二毛作社会」の実現を目指した取り組みを進めています。

豊かな人生経験を積まれた皆様は、活力ある社会づくりの担い手として頼りにされています。今後ともそれぞれの地域において、中心的な役割を担われご活躍されることと存じます。ここでの学習や仲間づくりがその一助になればと願っています。

卒業はゴールではなく、次の目標に向かっての新たなスタートです。これからは是非、心豊かに若々しく、いつまでも生き生きと人生を歩み続けることをご祈念申し上げまして式辞とします。 (一部割愛いたしました)

阿部守一 シニア大学長（県知事）の式辞



ご卒業誠にありがとうございます。シニア大学で 2 年間学んだことを基礎としてそれぞれの地域社会でさらに活躍していただきたいと思います。

長野県は人口減少社会に突入しています。その中で年をとっても働くことができる、地域に貢献できる「人生二毛作社会」の実現を目指した取り組みを県全体で進めています。

皆様には、シニア大学で学んだことを活かして、地域の子供たちへの支え合いや応援など様々な方面を通じて、活動、発展のためにご尽力いただき、この学びを活かしていただきたいと思います。「人生 100 年時代」を迎えつつある今日、暮らし方、働き方は大きく変化していくものと思います。この時代変化を積極的に前向きにとらえ、人生豊かに充実したものとしていただきたいと思います。

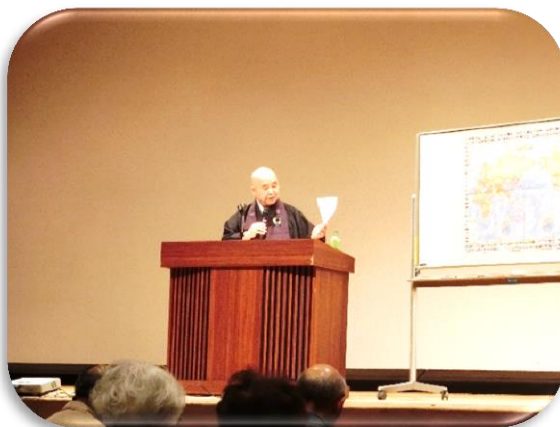
長野県は長寿日本一です。皆様も健康にはくれぐれもご留意いただき、有意義な人生のためにさらにご活躍いただきますことをご祈念申し上げます。 (一部割愛いたしました)



シニア大学講座の聴講

聴講の部 1

期 日 平成 30 年 2 月 2 日 (金)
会 場 豊科公民館ホール
講 座 「宗教と人生」
講 師 曹洞宗 龍雲山廣澤寺 東堂
小笠原 隆元 講師



「人生と宗教的信条」と題して講演をしていただきました。

《以下要約》

- ① 春は花 夏ほととぎす 秋は月 冬雪さえて冷やしかりけり
- ② 人生わずか 50 年 今では 100 年 心の平安はどこにあるやも知れず。
- ③ 「四苦八苦」とは何を指すのか? 『生』『老』『病』『死』……四苦と言う
『愛別離苦』『怨憎会苦』『求不得苦』『五蘊盛苦』を合わせて八苦と言う。
- ④ 私たちの住んでいる松本平、安曇野は山紫水明の地である。世界の中心だと自負している
- ⑤ 人間の心は摩訶不思議で、四つの心を常にはたらかせている。
 - ・虚栄心 ・誘惑に負ける心 ・怠け心 ・ねたみ心・ひがみ心
 - ・教育は、その目標とすることは『郷育』『恭育』であってほしい。
 - ・ユーモアを交えながら、ユニークなお話をいただきました。

聴講の部 2

期 日 平成 30 年 2 月 15 日 (木)
会 場 松本合同庁舎 講堂
講 座 「中南信の 140 年」
講 師 松本市文書館 特別専門
小松 芳郎 講師



熱心に聴講する賛助会員

明治 10 年 (1878 年) ころから明治末頃までの長野県 (信濃の国) の変遷を、県庁の移転や分県について当時活躍した人物をとらえながら講演をしていただきました。

《以下要約》

- ① 明治 4 年 (1871 年) 7 月廃藩置県により、北信方面は長野県に中南信地区は筑摩県に分割され、さらに旧幕府領は伊那県とし、各地に飛び地として分散した。
- ② 飛騨の国 (現在の岐阜県) も筑摩県とされた。
- ③ 明治 9 年 (1876 年) 長野県に統一される。
- ④ 明治 22 年 (1889 年) 分県の建白書が提出され、明治 23 年 (1890 年) 県会にて騒動の中、分県建議書は否決される。
- ⑤ 岐阜県 (飛騨の国) を除き長野県となる。
- ⑥ 明治 32 年 (1899 年) 浅井 洌 (松本出身) 「信濃の国」を作詞
- ⑦ 明治 33 年 (1900 年) 「信濃の国」発表

会員加入促進活動

期 日 平成 30 年 2 月 2 日 (金)

期 日 2 月 15 日 (木)

会 場 豊科公民館ホール

会 場 松本合同庁舎 講堂

シニア大学 1 年生および 2 年生の最終講座に合わせて、賛助会会員加入活動を実施しました。当日は、小野会長はじめ副会長など三役、「安曇野地域会」「松本城案内グループ」「さんさく会」「県シニア大あさひ会」「コーラス「りんどう」」「チャームシルク」「燦久会」「山紫ウォーキング」などのグループが会場内で熱心に加入活動を行い、50 名以上の新会員の加入ができました。



加入活動ポスターでアピール



豊科公民館ホールにて (1 年生終業式)



豊科公民館ホール 1 年生終業式
熱心に加入活動を行いました。



グループの活動内容をシニア大学生にアピール
豊科公民館ホール 1 年生終業式にて

活動グループ紹介

フォト一期一会

グループ長 吉江 克己

平成二十四年四月に（公財）長野県長寿社会開発センター松本地区賛助会員及び一般市民でこの会に賛同した者でサークルを立ち上げました。会員相互の親睦と心身の健康増進を図り気楽に楽しみながら技術向上を目指す事を目的として活動をしています。



活動として
は年4
回の例

会で講師の先生と勉強会を開催、年2回は講師の先生と撮影会に出かけ楽しんでます。

毎年三月には一年間撮り溜めた写真の中から選んで作品展を開催しております。来年三月には第五回作品展を計画しております。懇親会としては暑気払いと新年会を計画して

おります。写真に興味をお持ちの方は会員募集もしていますのでご連絡をお待ちしております。連絡先 吉江 克己 ☎090-5543-9875



額縁のタカハシにて 3月22日より作品展を開催しました。

ちごちごの会

グループ長 松澤 宏



「俳句は格調高く・句会は楽しく・句友と仲良く」私ども「ちごちごの会」の目標です。句の承語は背景であり舞台です。そして、見たものを素直に表す発見と想像、17文字の文学です。これは、信濃俳句通信主宰佐藤文子先生から、老

大26期、平成16年3月卒業以来、今も先生が示された句会の目標と教えをわきまえて、毎月1回、島内公民館13人（女性8人・男性5人）が集まり、明るく楽しい句会を開きます。なお、ゆとりのある時は、ハーモニカの上手な句友が作った歌集での叙情歌で、仲間とほのぼのとした思い出を味わっています。たまには勉強だけでなく懇親会も致します。

最近の句会で高得点2句を紹介します。

「別れ来て夜のぶらんこに揺れており」 文子
「深梅や来るはずもなき父母の声」 弘子



行事の報告

1 賛助会春の作品展

期 日 平成 30 年 4 月 9 日 (月) ~17 日 (火)

会 場 松本合同庁舎 1 階ロビー

恒例の松本地区賛助会春の作品展が松本合同庁舎にて開催されている。



今回は第一次展示

として水墨画を展示し、毎回素晴らしい作品が紹介されている。

第二次の展示として、4月18日(水)~25日(水) 絵画、写真、手工芸など多数の作品が展示されるので会場へ足を運んでいただき鑑賞してほしい。



2 三役事務局会議

三役事務局会議の運営で賛助会三役(会長・副会長・会計)事務局および支部事務局が(計9名)表裏一体と位置づけ、毎月第一月曜日に参集して年間12回の打ち合わせを行い、意思疎通を図り遺漏なき執行部とすることを目的に開催している。

3 理事会(常任・一般)の開催

3月26日(月)理事会が開催された。

平成30年度総会について、今回は役員改選時期に当たるため綿密な打ち合わせとした。それに伴い会則の一部改定の提案がなされ、また、議長候補、事例発表グループ、スケジュールや各自の役割などが提案された。



4 会報編集委員会



会報まつもと 48号発行 編集会議

会報編集委員会は、「会報まつもと」を年4回発行している。

発行の都度「企画」「校正」「印刷・発送」会議を開き、印刷発送時にはグループ「25Q」の皆さんの応援をいただいている。

記事の発行には賛助会の皆さんの一層のご協力をお願いしたい。

お知らせ

1 今年度の料理教室閉講について

松本合同庁舎の耐震化工事により、調理室が使用できなくなるので、残念ながら耐震化工事が終了するまで、料理教室を閉講いたします。同様に各グループで従来使用してきた会議室も使用できなくなっています。皆様にはご不便をおかけしますがご理解をお願いします。

松本地区賛助会総会も同様の理由により県看護協会会館での開催となりました。



2 シニア大学松本学部 1年生(42期生)入学式

日時: 5月9日(水) 14:00~15:00

場所: 長野県総合教育センター(塩尻市片丘)

内容: シニア大学松本学部 42期生の入学式が実施されます。

合同庁舎の耐震化工事による影響のため、講座場所は塩尻市片丘の県総合教育センターとなります。

今年度の松本学部は、会場が2年生(41期生)は安曇野市の県合同庁舎、1年生は塩尻市となり距離の離れた場所での講座となります。



3 グループの活動が新聞で紹介

『フォト一期一会』(吉江克己会長)
「ギャラリータカハシ」で会員の作品展を開催した記事が掲載された。



シニア大OB
児童園に善意
チームシルク

シニア大学松本学部 38期生のOB有志でつくる「ものづくりクラブチャームシルク」は、29日、松本児童園に6万円の寄付をした。

万円の寄付をした。各地のフリーマーケットやイベントで会員の手作り小物や古着の販売をして得た収益で、佐藤陽子代表(74)と会員の小口希志子さん(66)が、2年前に発足した児童園に6万円の寄付をした。

児童園に寄付した。各地のフリーマーケットやイベントで会員の手作り小物や古着の販売をして得た収益で、佐藤陽子代表(74)と会員の小口希志子さん(66)が、2年前に発足した児童園に6万円の寄付をした。

児童園に寄付した。各地のフリーマーケットやイベントで会員の手作り小物や古着の販売をして得た収益で、佐藤陽子代表(74)と会員の小口希志子さん(66)が、2年前に発足した児童園に6万円の寄付をした。

市民タイムス提供
3月24日「フォト一期一会」
3月31日「チャームシルク」

『チャームシルク』(佐藤陽子会長)フリーマーケットやイベントなどからの収益を松本児童園へ寄付した。グループの活動が広く市民へ伝わることで、松本地区賛助会としても評価された。

松本地区 法人賛助会員 様

- キッセイ薬品工業株式会社
- 松本倉庫株式会社
- 公益社団法人 長野県看護協会
- アズサイエンス株式会社
- 長野トンボ株式会社
- 株式会社 プラルト
- 株式会社 長野銀行
- 一般社団法人 長野県薬剤師会
- 松本信用金庫

法人会員様は、明るく、夢広がる、豊かな「人生100年時代」の実現のために(公財)長野県長寿社会開発センターの事業や活動をバックアップされています。

行事予告 1 『松本地区賛助会平成 30 年度総会』・・・詳細は 8 面記載のとおり

日 時：平成 30 年 4 月 26 日（木）13：00～16：35
会 場：長野県看護協会会館 3F 会議室
議 題：H29 決算・事業報告 H30 予算・事業計画
演 題：「寄り添う」
講 師：松本あつ子氏（公社）長野県看護協会会長



昨年の様子

行事予告 2 『シニア大学の聴講』

日 時：5 月 15 日（火）13：15～15：15
場 所：豊科公民館大ホール
講 師：後藤 俊夫 映画監督
演 題：戦争を語りつぐ
—映画「命ありて・おじいちゃんの手紙」—
担 当：活動推進グループ
申 込：松本支部事務局 ☎：0263-40-1911 指原事務局員



行事予告 3 『ウォーキング交流会』

日 時：平成 30 年 5 月 24 日（木）9：45 集合
集 合：松本市博物館前広場（松本城公園内）
担 当：山紫ウォーキング
内 容：松本市内の名水巡り その 2
申 込：所属のグループ長経由で
飯沼 忠文グループ長
☎/FAX：0263-73-4905 又は 090-8593-8278



締 切：5 月 20 日（日）

注 意：駐車は県の森、ススキ川の堤防などですがいずれも混雑が予想されますので、相乗りで早めに確保するか、近隣の駐車場を各自で手配願います。
松本駅お城口からタウンスニーカー北コースがあります。大名町もしくは丸の内下車 200 円です。

行事予告 4 『マレットゴルフ交流会』

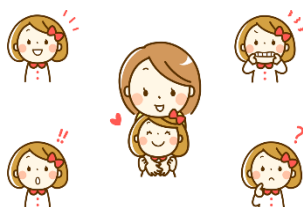
日 時：平成 30 年 6 月 21 日（木）9：00～12：30
会 場：穂高権現宮マレットゴルフ場
担 当：アルプスマレット
会 費：300 円
申 込：所属のグループ長経由で
小野 松雄 グループ長
☎/FAX：0263-82-5356 又は 090-8813-1763
締 切：6 月 15 日（金）



昨年 豊科水辺マレット場にて

平成 30 年度総会予告

日時	平成 30 年 4 月 26 日 (木) 午後 1 : 00 ~ 4 : 35		
場所	(公社) 長野県看護協会 会館 3F (会場への地図は別紙)		
内容	1 開会のことば	副会長	
	2 信濃の国斉唱	全員	
	3 あいさつ	松本支部長 松本地区賛助会長	
	4 祝 辞	塩尻市友愛クラブ連合会長	
	5 議長選出		
	6 議 事	第 1 号議案	H29 事業報告 H29 決算および監査報告
		第 2 号議案	H30 事業計画 (案) について H30 予算 (案) について
		第 3 号議案	会則改訂について
		第 4 号議案	役員改選について
		第 5 号議案	その他
	7 議長退任		
	8 新旧役員のあいさつ		
9 コーラス	コーラス 'りんどう'		
10 事例発表	「燦久会」 「県シニア大あさひ会」		
11 講 演	演題「寄り添う」		
	講師 松本あつ子 (公社) 長野県看護協会 会長		
12 閉会のことば	副会長		



松本地区賛助会の総会です。役員はもとより一般会員の皆さんも参加しましょう。

編集後記

平成 30 年度がスタートしましたが、会報編集委員会としては任期中最後の会報発行となりました。2 年間で 8 回制作し約 8000 部の発行となりました。この間賛助会の皆様には記事の依頼から各種行事への参加、発行時の印刷や封入へのボランティア支援など、多くのご協力とご理解があつてここまで活動して来られたことに厚く御礼申し上げます。

つたない編集で皆様にどのくらい編集者としての理念が伝わったか少し疑問点もありますが、(公財) 長寿社会開発センターの本部ホームページの各支部の会報を見る限り、松本地区賛助会の会報は引けを取らないと自負しています。

会報 50 号からは新編成の編集委員会として、再び皆様のご協力をいただいて、より親しみやすい会報発行を目指して頑張るつもりです。

さらなる皆様のご支援をよろしく願いいたします。

会報編集委員会 林 竹澤 深澤 宮入 石井 小林